

栄 さかえ小 ニュースレター

自主学習の習慣化

先日の学校評価アンケートの結果では、子供たちの自主学習への取組に課題が見られました。昨今は、習い事等を行っている子供たちが増えているため、少しでも負担を減らすために宿題の量を減らす学校が増えています。しかし、知識の定着を図るためには復習が欠かせません。また、中学生になると宿題がほぼ無くなるため、自分で学習する習慣を身に付けておかないと受験の時に困ります。そこで、今回は自主学習のメリット、習慣を身に付けさせるためのポイント等について紹介したいと思います。

【家庭学習のメリット】

- ① 自律性の向上：自分で学習計画を立てて取り組むことで、自律的に学ぶ力が育まれます。
- ② 理解の深化：学校で学んだ内容を復習することで、理解が深まり、知識の定着が図れます。
- ③ 個別学習の強化：自分のペースで苦手な部分に集中して取り組むことができ、効率的な学習が可能です。

【自主学習の習慣を身に付けさせるために必要なこと】

- ① **決まった時間を設定する**
 - ・「遊びに行く前に」「夕ご飯を食べる前に」など、毎日同じ時間に学習することで習慣化が促されます。
- ② **学習環境を整える**
 - ・テレビがついていたり、会話の音が聞こえたりする場所では気が散ってしまうため、集中して取り組める場所を確保する必要があります。また、近くに、ゲーム機やマンガなど興味を引くものがあると、つい手を伸ばしてしまいたくなるため、学習の妨げになるものはあらかじめ片付けておくことも大切です。
 - ・小学生の中には静かな部屋で集中して勉強するよりも、ほどよい生活音があったり、お家の人がそばにいたりする方が落ち着くということで、リビング学習を好むお子さんもいます。
- ③ **具体的な目標を設定する**
 - ・大きな目標に加えて、「毎日ノート2ページ」「問題集〇ページまで」など、1日の学習目標を明確にしておくことで結果が目に見えるため、達成感を得ることができます。
- ④ **保護者のサポート**
 - ・任せきりにするのではなく、お子さんが学習に取り組む様子を見守り、時にはアドバイスをすることでモチベーションが維持されます。また、頑張りを認め、適切なフィードバックを与えることで、自己肯定感も高まります。

【自主学習時間】

- ・一般的には「(学年) × 10分」とか「(学年) × 15分」と言われています。しかし、人によって勉強の効率は異なるため、まずはお子さんが集中できる時間を設定し、慣れてきたら徐々に増やしていくスタイルが効果的です。ちなみに、2022年に東京大学とベネッセ教育研究所が共同で実施した「子どもの生活と学びに関する親子調査」の結果では、**小1～3年生の平均自主学習時間：48分、小4～6年生の平均自主学習時間：78分**でした。

授業の1コマ



4年生の体育ではタグラグビーにチャレンジしていました。腰のターゲットを取られないようにチームで協力しながら、楽しくゲームに参加していました。



移動図書館が来る日をたくさんの子供たちが楽しみにしています。学校にはない本も多く、子供たちは興味津々です。新しい本との出会いが読書に親しむきっかけになれば嬉しいです。